

大切な想い、大切な友達、忘れられないひと夏の奇跡



あの日見た
花の名前を
僕達はまた
知らない。

劇場版

前を向けばきっと会える

8月31日(土)より全国ロードショー



300万人の
心を掴んだ
彼女がくれた
ひと夏の
奇跡の物語

2011年フジテレビ
「ノイタミナ」にて放送された
オリジナルアニメーション。

少年少女6人が抱える

葛藤を描いた本作は、

見るもの全ての心を掴み

その感動は世代性別を超えて

瞬く間に広がり、

「あの花」現象を生み出した。

なぜ、こんなにも

愛されるのか？

なぜ、こんなにも

心を掴むのか？

ここには、

忘れてしまった大切な事が

描かれている。

そして、2013年夏。

再びあの感動が劇場に。

CAST

宿海仁太 入野自由
本間芽衣子 茅野愛衣
安城鳴子 戸松遥
松雪 集 櫻井孝宏
鶴見知利子 早見沙織
久川鉄道 近藤孝行
仁太(幼少) 田村睦心
集(幼少) 瀬戸麻沙美
鉄道(幼少) 豊崎愛生

STAFF

原作 超平和バスターズ
監督 長井龍雪
脚本 岡田麿里
キャラクターデザイン・総作画監督 田中将賀
演出 吉岡 忍
アートディレクター 石垣努
美術 福島孝喜
プロップデザイン 冷水由紀絵
色彩設計 中島和子
編集 西山 茂
CG・撮影監督 森山博幸
音響監督 明田川 仁
音楽 REMEDIOS
アニメーション制作 A-1 Pictures
制作 「あの花」製作委員会
配給 アニプレックス

www.anohana.jp
CANOHANA PROJECT

鮮やかで、切ない夏をありがとう。

STORY

子供時代の事故をきっかけに心を閉ざし離れてしまった仲良し6人組。夏のある日、事故で死んでしまった彼女が彼らの前に現れる。しかし、彼女は何故自分が戻ってきたのかわからなかった。彼らはその理由を探すためにもう一度集まり、止まってしまった時間が少しずつ動き始める。奇跡の「あの日」から一年後。彼らはそれぞれの想いを手紙に込めて、いつもの秘密基地へと向かった。



宿海仁太(じんたん)、
本間芽衣子(めんま)、
安城鳴子(あなる)、
松雪集(ゆきあつ)、
鶴見知利子(つるこ)、
久川鉄道(ぼっぼ)の小学生6人組はあだ名で呼び合う大の仲良し。
「超平和バスターズ」と名乗りいつも秘密基地に集まって遊んでいた。めんまが事故で亡くなるまでは……。

事故から5年が経ったある夏の日、高校1年生になったじんたんの前に成長しためんまが突然現れる。彼女は、みんなに願いを叶えてもらうために戻って来たというが、その願いが何なのか覚えていなかった。事故後ひきこもりになってしまった

じんたんだったが、彼女の願いを叶える為、かつての仲間達と再会。問題はめんまの姿が自分になかなか見えない事だった。

それぞれが誰にも話せなかった想いを語り始める。めんまを傷つける一言がきっかけで死んでしまったと思っているじんたん。ゆきあつも事故のきっかけが自分にあると話し始める。じんたんのことが好きでめんまに嫉妬していた自分が許せないと話すあなる。苦しむゆきあつを見守り続けてきたつるこ。そしてあの日事故を目撃していたぼっぼ……。トラウマを抱え凍り付いた。彼らの心が少しずつ溶け始め、それぞれの想いを爆発させるのだった。



あれから1年後の「あの日」、それぞれの想いを胸に僕達はもう一度秘密基地に集まった



その頃、めんまの身体には異変が起き始めていた……。あれから1年、超平和バスターズの面々はめんまに宛てて手紙を書いていた。今まで誰にも語らなかつた自分だけの大切な思い出を胸に、それぞれの「愛」を綴っていくのだった……。



秘密基地で再会したぼっぼは、拍子抜けするほど簡単にめんまの存在を信じた。そして、あなるも必死なじんたんの姿を見て手伝うようになる。進学校に通っているゆきあつとつるこは、ひきこもりのじんたんに対して馬鹿にした態度で接し非協力的だったが、ぼっぼが企画したあるイベントをきっかけに超平和バスターズのメンバー全員が揃う事になる。久しぶりに集まった5人は、めんまの願いが何なのか手がかりを探しに動き出す。それぞれの心の奥にしまったあの日の時の記憶を探りながら、思い出をつないで行く。すると、止まってしまった時間が少しずつ動き出し、

CHARACTER



宿海仁太 (じんたん)

超平和バスターズのリーダーだったが、芽衣子の死後、母親も病気で失い、高校受験にも失敗し、引きこもりとなる。芽衣子の願いを叶えるために、学校に通い、アルバイトを始め、立ち直っていく。



本間芽衣子 (めんま)

ロシアの血を引くクォーター。幼い頃に事故で亡くなってしまうが、その後幽霊となって仁太の前に現れる。外見は成長した姿をしているが、中身は亡くなった当時のままで言動には幼さが残る。



安城鳴子 (あなる)

仁太と同じ高校に通っており、ギャル仲間とつるんでいたが、背伸びするのに疲れて仁太たちと行動を共にようになる。幼い頃から芽衣子に憧れていたが、仁太を巡って嫉妬心も抱いていた。



松雪集 (ゆきあつ)

進学校で学年2位の成績を誇る秀才で容姿端麗。告白した直後に芽衣子が亡くなり、彼女への執着心を消すことができずにいる。女装して芽衣子になりきるといふ奇行を繰り返していたことが判明する。



鶴見知利子 (つるこ)

冷静沉着でちょっと皮肉屋。集と同じ進学校に通い、学年4位の好成績を取っている。幼い頃から集に恋心を抱いているが、芽衣子には敵わないという思いから、よき理解者であろうとしている。



久川鉄道 (ぼっぼ)

子供の頃は一番成長が遅かったが、今は最も体格がいい。高校には通わず、アルバイトで貯めたお金で世界を放浪している。ずっと仁太を慕っており、帰ってきた芽衣子の存在もすぐに信じた。